

令和4年度兵庫県政に対する要望書を提出

ポストコロナ社会を見据え地域経済の再生と活性化に向けた支援施策を求める

当商工会議所を含めた県内18商工会議所で構成する兵庫県商工会議所連合会は、「兵庫県政に対する要望」を取りまとめ、家次連合会会頭より、齋藤知事、藤本議会議長らに要望書を提出した。

兵庫県政に対する要望活動は、次年度の県の施策や予算措置に向けて県内商工会議所の意見を反映させるため、毎年実施している。

今回の要望は、「ポストコロナ社会に向けた地域経済再生と活性化」と「商工会議所における相談・指導体制の確保」を柱とし、全17項目を盛り込んだ。

要望の席上、家次会頭は「緊急事態

宣言が解除され、経済活動が正常に戻りつつあるものの、飲食やサービス、観光業などはこれまでのダメージの蓄積が大きく、再起への立ち上がりに向け、もう一押し支援が必要だ」と強調し、セーフティネットの継続に加え、既存事業の見直しや新たな分野へ挑戦を図る事業者に対する支援を求めた。

また「ポストコロナ社会を見据え、今こそ公共投資を増やし、都市基盤の整備を進めるべき」とし、県庁舎とその周辺の再整備をはじめ、空港、高速道路といったインフラ整備の加速化を訴えた。

齋藤知事は「今後は感染予防を徹底しつつ、本格的に経済活動を行わねば

ならない。要望をいただいた項目は内容を吟味し、来年度予算に向けて盛り込んでいきたい」と応じるとともに、「これからの兵庫県内全体の経済や雇用のビジョンについて検討したい。5年先、10年先のことを、じっくり腰を据えて考えていきたい」とし、バイエリアにおける産業集積や地場産業の振興、県庁舎の再整備などについて意見交換をおこなった。

兵庫県商工会議所連合会では、新型コロナウイルス感染症が県内経済に与える影響を注視しつつ、適宜、各地商工会議所からの経済活性化、地域振興に向けた意見や課題を取りまとめ地元行政に対し要望活動を行っていく。



齋藤知事（中央）へ要望書を手交する家次会頭



藤本議長（中央左）、谷口副議長（中央右）へ要望

要望内容

I ポストコロナ社会に向けた地域経済の再生と活性化

- 中小企業・小規模事業者に対するセーフティネットの継続
- 新たな挑戦に向けた経営力強化への支援
 - 新事業展開・事業再構築、業態変更への支援
 - 販路開拓・企業間マッチングへの支援
 - 企業活動のデジタル化への支援
 - 事業継続計画（BCP）普及等への支援
 - カーボンニュートラルへの取り組み支援
- 県勢維持・拡大に向けた人口流出抑止への取り組み
 - 企業の人材確保とUIJターンの支援促進
 - 新しい働き方、多様な働き方への対応
 - 企業誘致の推進と事業拠点の県内回帰への支援
 - 起業・創業と事業継続への支援
 - 地域ブランド振興による地場産業活性化への支援
 - 観光振興による交流人口増加
 - 公共事業の安定的確保

4. 産業・交通基盤の整備

- 県庁周辺の再整備
- 産業基盤
- 交通基盤

II 商工会議所における相談・指導体制の確保

9.24

地域密着型のメディア戦略

情報産業部会 講演会



情報産業部会は、(株)サンテレビジョン代表取締役社長の沼田伸彦氏を講師に迎え、「地域密着テレビ局からみた兵庫・神戸」をテーマに講演会を開催した。

沼田氏は、サンテレビの歴史や特色、本年の新社屋移転を紹介。なかでも、阪神・淡路大震災の教訓から「災害に強いテレビ局づくりを大切にしている」と強調した。

また、サンテレビはそれぞれに特色がある県下41市町とともに、地域プレゼンスを向上させていくことが「地域密着テレビ局としての使命だ」と力説した。

中小企業振興部振興チーム

10.13

会員企業の採用活動をサポート

企業と学校キャリアセンターとの就職情報交換会



地元大学・専門学校16校と中小企業57社とのマッチングイベントを開催した。会場では求人情報や学生の就活事情に関する情報交換など、延べ216回の面談が行われた。

同イベントは、企業が面談を希望する学校にエントリーし、学校が企業を選考する事前マッチング方式を導入。お互いを理解した上での面談により、中身の濃い情報交換となった。

参加企業からは「コロナ禍で学校訪問が難しいなか、多くの学校に会社の魅力を直接伝えることができた。ぜひとも優秀な学生を採用したい」と力強い声が聞かれた。

会員事業部人材開発チーム

10.8

ヒット商品を生み出す志向

小売商業・卸売商業部会 講演会



小売商業部会・卸売商業部会は、サイバー大学IT総合学部教授（元日経トレンディ編集長）の北村森氏を講師に迎え、「令和の時代の消費者動向を掴む」をテーマに講演会を開催した。

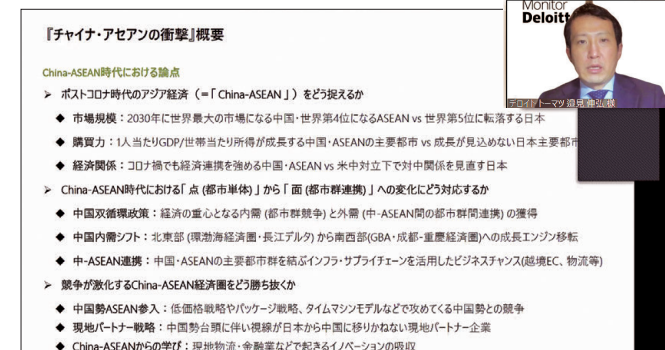
北村氏はこれまでに取材してきたヒット商品を紹介した上で、「ニーズを優先するマーケットイン志向からは、消費者のインサイト（潜在的な購買欲求）はつかめない。製品も商業施設も、買い手（顧客）のニーズより作り手が良いと思うものを作る“プロダクトアウト型志向”から真のヒットが生まれる」と強調した。

中小企業振興部振興チーム

10.19

チャイナ・アセアン経済圏の誕生と日本企業のグローバル戦略

市場開拓セミナー



国際ビジネス委員会は、モニターデロイト チーフストラテジストの邊見伸弘氏を講師に迎え、日本企業のグローバル戦略をテーマにセミナーを開催した。

チャイナ・アセアンは、交通インフラ整備と越境ECの状況を背景に、コロナ禍でも投資や貿易を拡大させ、アセアンは中国の最大貿易相手となるなど、経済連携を強めている。

邊見氏は「2030年には、アセアン全体の市場規模は日本を超える」と述べた。日本企業に対し、「アジア経済で起きている変化を謙虚に受け止め、新たな視点でのグローバル戦略の再構築が急務」と警鐘を鳴らした。

産業部産業・国際チーム

会員事業所の優秀功労者128名を表彰

会員事業所優秀功労者表彰式典

令和3年度会員事業所優秀功労者表彰式典を開催した。

同表彰は、会員事業所の従業員を対象に、企業活動に顕著な貢献をされた従業員の功績を称えることを目的に昭和53年より実施。今年度で44回目を迎え、これまでに延べ9,556名もの従業員を表彰している。

式典では、主催者を代表して家次会頭が式辞を述べた後、会員事業所より推薦のあった勤続20年以上の優秀な従業員である「永年優秀功労者」81名と、勤続5年以上20年未満の特に功績顕著な従業員である「特別優秀功労者」47名、計128名に対し、家次会頭より表彰状と記念品が贈呈された。

表彰に続き、来賓として臨席された西舩和美兵庫県神戸県民センター長ならびに豊永太郎神戸市経済観光局副局長より祝辞を受けた。

式典終了後、受賞者は表彰状を手これまでの経験を顧みるとともに、職場の仲間と受賞の喜びを分かち合った。



家次会頭から優秀功労者へ表彰状・記念品を贈呈

永年優秀功労者

(事業所名50音順・敬称略)

事業所名	受賞者名	勤続年数
アサヒブリテック(株)	吉留 隆久	25年
	岩佐 義仁	25年
エイチ・ワイ・ホスピタリティ・エンタープライズ(株)	伊井野 昌洋	20年
MHI NUSEC(株)	米田 浩二	38年
	當川 昇男	36年
MHIファシリティーサービス(株)	藤池 一樹	31年
川崎重工業(株)	今堀 剛史	28年
	服巻 隆二	27年
	松山 栄誠	23年
	森 英行	29年
	浅原 英之	30年
	前田 健作	28年
	柴山 真之	31年
	佐野 隆史	29年
	富松 博文	22年
	藤井 薫	40年
川重車両コンポ(株)	岡本 昇久	40年
	清水 和夫	28年
小泉製麻(株)	養田 博幸	31年
(株)神戸製鋼所	山添 隆幸	35年
	楠本 泰啓	30年

事業所名	受賞者名	勤続年数
神戸電鉄(株)	中村 陽二	31年
	岩國 哲士	34年
(株)神戸洋行	岡田 久子	21年
山陽電気鉄道(株)	木澤 喜之	41年
	山本 悦治	40年
	前田 彰彦	39年
	神田 義幸	29年
(株)神鋼エンジニアリング&メンテナンス	山下 聡	30年
	森田 雅文	25年
	福田 和也	24年
	田中 秀樹	25年
	宮前 稔	39年
(有)たばる坂	福田 孝志	29年
(有)辻野商店	石原 定道	36年
トーカロ(株)	吉田 貢	38年
	多留 政樹	42年
	谷口 正樹	39年
	吾孫子 治幸	38年
中田エンジニアリング(株)	橋津 佳明	35年
(株)ハーロー企画	富岡 裕子	22年
(株)服部	浅岡 剛一郎	20年
	今城 可奈	20年
	下迫 奈麻子	20年

事業所名	受賞者名	勤続年数
阪急電鉄(株)	大濱 清文	39年
	小椋 悟	33年
バンドー化学(株)	坂中 宏行	31年
	岸本 隆之	34年
兵庫トヨタ自動車(株)	和田 義彦	33年
	後藤 啓一	33年
	谷口 英	30年
	瀬崎 智康	32年
	松井 詔雄	37年
	永濱 聖将	23年
二葉典礼(有)	藪崎 英一	33年
(株)フナビキ工務店	飛松 見也子	33年
	南地 秀亮	20年
	毛利 和久	23年
(株)ヘンミ	久武 悟	28年
(株)マルヤナギ小倉屋	松野 淳也	26年
マロール(株)	指宿 万規子	35年
	原山 裕子	31年

特別優秀功労者

(事業所名50音順・敬称略)

事業所名	受賞者名
(株)アイ・エム・シー	石井 康子
	あじーる
(株)いづよね	白川 理恵子
	鎮守 留美子
	中村 幸太
	山川 拓昭
	松井 秀樹
	谷口 真理
	山本 寛之
	松本 泰明
	本部 未央
	福井 英樹
	西谷 真也
	塩見 隆太郎
	黒田 健矢
	辻 圭太郎
	阿部 哲平
MHI NUSEC(株)	英 和男
	松田 圭祐
小泉製麻(株)	松本 裕子
(株)神戸製鋼所	沖野 聖
	末永 智揮
	紙川 征之
	村尾 秀人
	中山 孔介
	山岡 弘幸
	藤尾 良平

事業所名	受賞者名	勤続年数
三菱重工機械システム(株)	津田 秀樹	39年
三菱重工工業(株) 神戸造船所	石井 隆史	39年
	安田 健次	39年
	三宅 敏久	38年
	上野 建一	40年
	松本 浩之	38年
	藤岡 光夫	40年
	福枝 直樹	33年
三菱電機(株) 電力システム製作所	鈴木 剛	39年
	野田 哲也	39年
	稲岡 幹也	38年
	劔物 英夫	38年
三ツ星ベルト(株)	山口 博	36年
湊川産業(株)	石田 一裕	39年
	山本 寿々代	43年
	西岡 正博	42年
宮野医療器(株)	山田 茂	28年
	志摩 英治	27年
(株)老祥記	田中 満	24年

以上 34社81名

事業所名	受賞者名
(株)神防社	谷口 智洋
	西中間 英樹
	田中 俊行
	江副 真弓
	北村 智博
(株)神鋼エンジニアリング&メンテナンス	内山 賢二
	井原 啓文
	阿部 翔太
	武貞 勇祐
	猪 圭右
	桑原 健太
(有)辻野商店	北山 克之
バンドー化学(株)	横谷 典之
	桑鶴 健
	北方 弘人
兵庫明光販売(株)	森 健一
	橋爪 隆志
	山根 尚久
(株)フナビキ工務店	吉田 英樹
	林 貴之
六甲パター(株)	片山 和子

以上 14社47名